

# 小谷家のひな祭り

## 好評で8日に追加公開

館 山

青木繁「海の幸」誕生の家として知られ、保存

運動の進む館山市布良の小谷家住宅(館山市指定文化財)で、修復工事を前に今月初め、ひな祭りの公開見学会が行われたが、3日間で延べ200人が来場する人気ぶりだった。このため、8日に急ぎよ追加公開することになった。

このイベントでは、昭和の雛(ひな)人形とともに、当主夫妻が納戸の奥から発見した古い雛人形も展示公開された。見つかったのは、4対の雛人形と大黒様と恵比寿様、五人囃子と一对の高砂人形の計17体。ひとつ

の木箱には「久次郎 げん」と記されている。「げん」は、現当主の6代前に婿養子を迎えた女当主の名で、明治3年に98歳で世界しているこ

とから、江戸期に制作されたものと推察される。200年を超えるとは思えないほど保存状態もよく、着物の色も美しい。来場者はみな、思わぬ文化財に感動していた。

当主の小谷福哲さんは、「先祖のげんさんが、小谷家住宅の保存運動にエールを送ってくれて、人形を見つけたおかげで、おおよそ半分が集まったため、4月から着工することになり、平成28年春の一般公開を目指している。

60年ぶりに日の目を浴びた人形も嬉しそう」と話した。

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会では、館山市のふるさと納税を通して寄付を募っており、趣旨に賛同する会員を募集している。全国の画家たちの支援により、修復基金の目標額3600万円のうち

追加の公開見学会は、8日午前10時〜午後3時で多くの来場者を呼びかけている。場所は、JRバス安房自然村停留所から徒歩3分。問い合わせは、保存する会の池田恵美子さん(090-6479-3498)まで。



新たに見つかり公開されている江戸期と推察される雛人形=小谷家

人形を見つけたおかげで、おおよそ半分が集まったため、4月から着工することになり、平成28年春の一般公開を目指している。